

荒川区学校施設 整備水準

(案)

令和8年●月

荒川区教育委員会

目 次

1 基本的な考え方.....	1
2 施設構成と考え方	4
3 学校施設の複合化等	5
4 諸室の詳細	5
 < 参考 >	
児童生徒・教職員へのアンケート結果.....	15

1 基本的な考え方

学校施設の建替えや増築など、施設整備を計画する中で、「荒川区学校教育ビジョン」「荒川区教育施設長寿命化計画」において示されている教育施設の目指すべき姿や国の動向等を踏まえ、新しい時代の学びを実現するため、今後の学校施設整備の基本的な視点として以下5点を定めます。

今後個別の学校の計画にあたっては、本整備水準で示す施設整備を原則としたうえで、各学校の伝統や個性、地域性等を考慮し学校ごとに特色ある活動や多様な教育活動を推進していくことができるよう、施設整備を進めていきます。また、より効果的・効率的な施設整備の手法として、PFI や包括的民間委託などの官民連携による整備手法等を検討します。

(1) 新しい時代の学びを実現する学校施設

- これまでの学校施設の固定観念に捉われず、時代の変化、社会的な課題に対応する視点(可変性)を持ち、「学校施設全体を学びの場」として整備をします。
- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、ICT を日常的に活用できるよう、大型提示装置(電子黒板)や高速大容量通信ネットワーク等の整備を進めるとともに、校務の効率化を図り学校現場における業務負担を軽減することを目指します。
- ユニバーサルデザインの考え方に基づき、物理的、心理的な障壁を取り除くバリアフリー化を進めるとともに、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進し、障がいのある子もない子も共に学び個別の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる環境整備を進めます。
- 様々な要因により不登校となってしまった児童生徒の学びを継続するための環境整備を進めます。
- 多様な学習活動等に柔軟に対応できる学習・執務空間を整備します。
- 「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言により目指している、地域が一体となって読書を通じた心豊かなまちづくりの推進のため、児童生徒が日頃から読書に触れる機会を創出し、学校図書館(図書室)の充実を図ります。



(2) 安全安心な学校施設

- 学校施設は、児童生徒が1日の多くを過ごす場であるため、事故などの原因の排除に努め、安全安心な施設を整備します。
- 敷地境界部からの侵入対策などの防犯性や安全性に配慮し、見通しが良く、動線や構造を十分に検討した施設とします。
- 地域開放時や避難所運営時に、児童生徒の安全確保や個人情報保護できるようセキュリティに配慮します。
- 構造躯体の耐震化に加え、天井材、家具什器、電気・機械設備等の非構造部材等の耐震化も図ります。



- 窓ガラスは、強化ガラスや防災安全合わせガラスなどを検討し、災害時等の安全を確保できるよう配慮します。
- 浸水時における教育活動の早期復旧等のため、職員室等の重要諸室、避難所となる体育館、防災備蓄倉庫等の2階以上の上階への配置や受変電設備等の屋上設置・架台設置、止水版の設置、低層階の電源コンセントの位置等に配慮します。

(3) 快適な空間及び維持管理しやすい学校施設

- 明るさ(採光)、通風、換気、断熱、音などの基本的な室内環境の整備に加え、化学物質の放散量の少ない建築素材の選定や十分な換気によりシックハウス対策を実施するとともに、抗菌素材の使用や自動水栓等の設置により、感染症対策を実施し、健康で快適に過ごせる施設を整備します。
- 近年の気候変動による猛暑・酷暑に対応するため、校舎内外の暑さ対策を実施し、良質な教育環境を確保します。
- 感覚過敏などの児童生徒も過ごしやすくなるよう、センサリーフレンドリーの考え方にも配慮します。
- 維持管理のしやすさや、改修時のコスト抑制のため、できるだけシンプルな形状の施設となるよう検討します。
- 定期的な設備の更新、交換作業等が行いやすい仕上げや構造、汎用性の高い設備を検討し、維持管理が容易となるよう配慮します。
- 施設の良好な維持と維持管理コストの低減を図れるように、設計段階において最良の機器を選定します。



(4) 環境への配慮・持続可能な社会に資する学校施設

- 区のゼロカーボンシティ表明に基づき、「脱炭素社会」へ転換していくため、荒川区役所エコアクティブプラン等を踏まえて、省エネルギー設備、再生可能エネルギー設備の導入・設置を推進します。
- 環境負荷の低減を図った設計・建設、環境教育に資するエコスクールの整備を推進します。
- 自然との接触、環境教育の場の創出等のため、可能な限り緑化に取り組みます。
- 外壁や屋上(屋根)、窓ガラス等の高断熱化等を図り、快適な学習環境を整備します。
- 年間のエネルギー消費量の収支をゼロにすることを目標としたZEB^()化を視野に入れて検討します。
- 可能な限り国産材による木材の利用や内装の木質化を促進し、木材の持つ温かみやストレス緩和効果、調湿作用・抗菌作用により快適な空間の整備を図ります。



ZEB(Net Zero Energy Building)

建物で消費する一次エネルギーを年間で収支ゼロにすることを目指した建築物を指し、50%以上の省エネルギーを図ったうえで、再生可能エネルギー等の導入により、エネルギー消費量を更に削減した建築物について、その削減量に応じて、

『ZEB』：100%以上削減(再生可能エネルギーを含む)

Nearly ZEB：75%以上、100%未満削減(再生可能エネルギーを含む)

ZEB Ready：50%削減(再生可能エネルギー含まず)

ZEB Oriented：30～40%以上の省エネルギーを図り、かつ、省エネルギー効果が期待されているものの、建築物エネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく技術を導入している建築物のうち1万㎡以上のもの(再生可能エネルギー含まず)

の4段階のZEBを定義しています。

(5)地域の拠点となる学校施設

- 児童生徒だけでなく、障がいのある方、高齢者等誰でも利用しやすいユニバーサルデザインによる施設整備を進めます。
- 体育館の開放、選挙時の投票所等の地域利用・地域開放を想定した諸室や災害時の避難所となった際、要配慮者の利用スペースとなる諸室の配置に配慮します。
- 必要に応じて学童クラブ等の公共施設との複合化をはじめ、地域コミュニティの拠点となるよう検討します。
- 災害時の避難所となることを想定し、マンホールトイレの整備や簡易トイレ・携帯トイレの備蓄、温水シャワーの設置、停電に備え非常用発電機や蓄電池、応急給水栓、太陽光パネル、雨水貯留槽等の整備など防災担当部署と連携し、必要な設備等を整備します。
- 避難所運営時、ペットの避難場所も確保できるよう留意します。
- 可能な限り、災害時のヘリコプターでの救助や救援物資の運搬の目印となるヘリサインを整備します。
- 将来的な児童生徒数の減少を見据え、地域利用を想定した他の用途に転用が可能なような仕様を検討します。



2 施設構成と考え方

学校施設の整備にあたっては、敷地面積、用途地域、学校規模、地域特性など、学校ごとに異なることから、それぞれの土地、条件に則した学校を整備する必要があります。

今後の建替えにおいて、必要となる諸室をエリアごとに分け、役割を明確にし、必要以上に設置することのないよう、諸室等の整備を進めます。

本整備水準は、「特別教室型」を基本として定めます。「教科教室型」の運用に係る施設整備については、設計時に各学校と十分協議の上、個別に検討することとします。

また、小中一貫教育を実施する施設形態(施設一体型、施設隣接型、施設分離型)については、一貫教育に適した施設を整備する必要があるため、教育効果及び安全面を考慮するとともに、9年間の系統性・連続性を大切に、小中連携のしやすい諸室配置とするなど、十分協議の上個別に検討することとします。

児童生徒-学習エリア	
	普通教室 / 少人数教室(習熟度別学習室) / 特別支援学級
	特別支援教室 / クールダウンスペース / 登校サポートルーム
	特別教室
	理科室 / 音楽室 / 図工室(小学校のみ) / 美術室(中学校のみ)
	技術室(中学校のみ) / 家庭科室(小学校のみ)
	被服室・調理室(中学校のみ) / 学校図書館
児童生徒-生活エリア	
	多目的室・ランチルーム / 児童会室・生徒会室 / 児童生徒用更衣室
	昇降口 / 児童生徒用トイレ / 手洗い場
職員-管理エリア	
	職員室 / 校長室 / 事務室 / 主事室 / 印刷室 / 会議室
	保健室 / 給食室 / 配膳室 / 給湯室 / 職員更衣室
	職員・来客用昇降口 / 職員・来客用トイレ / 放送室 / 教育相談室
	進路資料室(中学校のみ) / PTA室 / 教材室・倉庫
	スクール安全ステーション(小学校のみ) / 廊下・階段 / エレベーター
運動エリア	
	校庭 / 体育館 / プール(拠点校のみ) / 武道場(中学校のみ)
地域コミュニティエリア	
	多目的室・ランチルーム / ミニ備蓄倉庫
	学童クラブ・にこにこすくーる(小学校のみ)

3 学校施設の複合化等

複合化は、公共施設全体の面積の縮減に繋がるほか、建設・運営・維持管理のコスト縮減にも繋がります。児童生徒の学習と生活に支障のない範囲において、学童クラブ等の公共施設との複合化をはじめ、施設間の相互利用、共同利用等幼児や高齢者等多様な世代と交流できる場として、地域コミュニティの拠点となるよう検討します。

4 諸室の詳細

児童生徒-学習エリア

普通教室 [必要数:学校規模に応じて検討][面積:72 m²]

- タブレットの利用や教科書サイズの規格に合わせた机の大きさ(新JIS規格)を踏まえ、72 m²(8m×9m)を標準とします。
- 学年ごとのまとまりに配慮するとともに、学級編成基準の変更を見据えた普通教室数を確保します。
- 良好な採光確保と近隣のプライバシーに配慮した配置とします。
- 多様な学習活動等に柔軟に対応できるよう、カーテンやパーテーション等の設置、廊下等共用部分の有効活用等を図るとともに、可動式ロッカー等の導入や配置の工夫により、教材などの収納環境を整え、教室空間の有効活用を図れるよう検討します。

少人数教室(習熟度別学習室)[必要数:学校規模に応じて検討][面積72 m²]

- 教室規模や設備は普通教室と同様とします。
- 小学校には算数室、中学校には英語室と数学室として整備します。
- 少人数教室として使用するだけでなく、オープンスペースとしての使用もできるよう配慮します。

特別支援学級(設置校のみ)[必要数・面積:設置校の状況により検討]

- 肢体上支援を要する児童生徒の通学の負担や緊急時の避難の安全性を考慮し、原則1階に配置します。
- 障がいのない児童生徒との交流及び共同学習、日常的な交流が促されるよう配置に配慮します。
- 音や光、振動などの環境条件が及ぼす影響が、障がいのない児童生徒に比較して大きいことに留意し、音楽室や体育館から離れた配置とすることや保健室と近い配置となるよう配慮します。
- 人数に応じて適切な広さで指導が行えることや特性に応じて個別指導が行えるよう、カーテンやパーテーション等で仕切れるように配慮します。
- シャワー室等の洗浄設備を備えた空間の設置を検討するとともに、バリアフリースイレと近い配置となるよう配慮します。

特別支援教室 [必要数:1程度][面積:72 m²]

- 障がいのない児童生徒との交流及び共同学習、日常的な交流が促されるよう配置に配慮します。
- 音や光、振動などの環境条件が及ぼす影響が、障がいのない児童生徒に比較して大きいことに留意し、音楽室や体育館から離れた配置とするなど配慮します。
- 人数に応じて適切な広さで指導が行えることや特性に応じて個別指導が行えるよう、カーテンやパーティション等で仕切れるように配慮します。

クールダウンスペース [必要数:各校の状況に応じて検討][面積:2～3 m²程度]

- 外部の音や視線を遮断し気持ちを落ち着かせて、パニックを防ぐためのスペースの設置を教室近くに配置するよう検討します。
- 専用のスペースを確保できない場合は、特別支援学級・特別支援教室内等に間仕切り等を設置し、区切って使用できるよう検討します。

登校サポートルーム [必要数・面積:各校の状況に応じて検討]

- 自分のクラスに入りづらい児童生徒が、落ち着いた空間の中で自分にあったペースで学習・生活できる環境スペースの設置を検討します。
- 教育相談室や保健室、職員室等と近い位置に配置するよう配慮します。
- 専用のスペースを確保できない場合は、少人数教室等に間仕切り等を設置し、区切って使用できるよう検討します。

特別教室

- 特別教室は、普通教室の2倍の大きさ($72\text{ m}^2 \times 2 = 144\text{ m}^2$)を標準とし、隣接する形で準備室を設けます。
- 学校規模により、必要部屋数の検討を行います。(第一理科室・第二理科室等)

【理科室】 [必要数:1～2][面積:144 m²(準備室含む)]

- 生物の飼育・栽培、観察等を行うため、屋外への動線に配慮した配置とします。
- 部屋内に流し台を設置し、十分な数の水栓を確保します。
- 事故発生時の危険回避を考慮し、椅子は背もたれがないものとします。
- 薬品類の保管に関して棚等の転倒に配慮するとともに扉は施錠可能なものとします。
- ガス及び火の使用を考慮し、十分な換気容量を確保します。
- 壁・床・机等は耐熱性・耐水性・耐薬品性などの耐性に優れるものとし、床は水濡れしても滑りにくい仕様とします。

【音楽室】 [必要数:1～2][面積:144 m²(準備室含む)]

- 防音、遮音対策を講じます。
- 音の影響を考慮し、他の教室(特に特別支援学級等)や近隣住宅との位置関係に配慮します。

- 大型の楽器等種々の楽器や教材、音楽備品等を収納するための収納備品を、音楽室及び準備室内に確保します。
- 楽器搬出入のため、出入口は十分な幅員を確保します。

【図工室】(小学校のみ) [必要数:1][面積:144m²(準備室含む)]

- 部屋内に流し台を設置し、十分な数の水栓を確保します。
- 作品を展示、保管できるスペースの確保を検討します。
- 種々の工具・教材・材料等に適した収納備品を配備します。
- 陶芸窯等特別な設備を設ける場合は、必要性について十分検討しスペースを確保します。

【美術室】(中学校のみ) [必要数:1][面積:144m²(準備室含む)]

- 部屋内に流し台を設置し、十分な数の水栓を確保します。
- 各机から使用できる位置に、ドライヤーなどの消費電力の大きい器具も使用可能なコンセントを必要数設けます。
- 作品を展示、保管できるスペースの確保を検討します。
- 種々の工具・教材・材料等に適した収納備品を配備します。

【技術室】(中学校のみ) [必要数:1～2][面積:144m²(準備室含む)]

- 木工・金工に対応できる大きさ・材質の作業机を、活動しやすい間隔で適切に配置します。
- 事故発生時の危険回避を考慮し、椅子は背もたれがないものとします。
- 部屋内に流し台を設置し、十分な数の水栓を確保します。
- 各机から使用できる位置に、ドライヤーなどの消費電力の大きい器具も使用可能なコンセントを必要数設けます。
- 作品を展示、保管できるスペースの確保を検討します。
- 種々の工具・教材・材料等に適した収納備品を配備します。

【家庭科室】(小学校のみ) [必要数:1][面積:144m²(準備室含む)]

- ガス及び火の使用を考慮した、十分な換気容量を確保します。
- 必要数の流し台、調理台、ガスコンロまたはIHヒーター、オーブン、ミシン、冷蔵庫、洗濯機等の必要設備を設置します。
- 流し台やコンロ等に蓋を設置するなど様々に利用できるつくりとなるよう配慮します。
- 教室内で食事することを考慮し、黒板ではなくホワイトボードの設置を標準とします。
- 食器、材料、教材、製作中の作品等を収納するための収納備品を配備します。

【被服室】(中学校のみ) [必要数:1][面積:144m²(準備室含む)]

- 調理室と近接した配置とします。
- 必要数のミシン、洗濯機等の必要設備を設置します。
- 被服に用いる器具・材料・教材・製作中の作品等を収納するための収納備品を配備します。

【調理室】(中学校のみ)[必要数:1][面積:144m²(準備室含む)]

- 被服室と近接した配置とします。
- 必要数の流し台、調理台、ガスコンロまたはIHヒーター、オーブン、冷蔵庫等を設置します。
- ガス及び火の使用を考慮した、十分な換気容量を確保します。
- 教室内で食事することを考慮し、黒板ではなくホワイトボードの設置を標準とします。
- 調理に用いる器具・食器・材料・教材等を収納するための収納備品を配備します。

【学校図書館][必要数:1~2][面積:144m²~(準備室含む)]

- 音や振動による影響を考慮し、音楽室・体育館などとの位置関係に配慮するとともに、児童生徒及び教職員等誰からも利用しやすい配置となるよう配慮します。
- 書架は機能性と安全性を重視したものとし、収納冊数の多い書架や展示用書架など、用途に応じた種々の書架を効率的に配置します。
- 調べ学習、自習、グループ学習などのスペースを設けます。
- デジタル化の中で、図書やコンピュータ等学習に必要な教材等を配備し、メディアセンターとしての計画を検討します。
- 地域利用も考慮し、部屋の形状にこだわらず、オープンな形状の配置等を検討します。

児童生徒-生活エリア

多目的室・ランチルーム [必要数:学校規模・各校の状況により検討][面積:144m²]

- 多目的の用途での使用を考慮し、机椅子の配置を容易に変更することができるよう、机は折り畳み・キャスター移動可能なもの、椅子は軽量かつ折り畳み又は重ね置き可能なものとします。
- 室内で食事することを考慮し、黒板ではなくホワイトボードの設置を標準とした上で、必要数の手洗い流しを設けます。
- 地域開放を想定し、給湯スペース(ガスコンロまたはIHヒーター・流し台・換気扇)を設置します。
- 廊下との間仕切壁を可動間仕切とし、用途によってオープンな教室としても使用できるよう配慮します。

児童会室・生徒会室 [必要数:1][面積:36m²]

- 広報やイベント等に関する作業を行うことを考慮し、作業机や筆記・工作用具などを配備します。

児童生徒用更衣室 [必要数:2(男女各1)][面積:36m²]

- 男女別に設けます。
- 性同一性障害や性的指向・性自認(性同一性)に係る児童生徒本人への配慮と他の児童生徒への配慮をした配置とします。
- 教室に近接させることや体育館に近接させるなど位置関係に配慮します。
- 緊急時の非常通報装置の導入を検討します。
- 専用のスペースを確保できない場合は、教室内へカーテン等を設置することを検討します。

昇降口 [面積:学校規模に応じて検討]

- 教育目標等を掲出できるスペースを確保します。
- 来校者が受付を通らず校舎内に入らないよう、主事室等からの見通しに配慮します。

児童生徒用トイレ [必要数・面積:学校規模に応じて検討]

- 乾式(ドライ)仕様とし、衛生管理のしやすい構造とします。
- 大便器はすべて洋式とし、温水洗浄便座の設置を検討します。
- 児童生徒数に応じて必要な器具数を整備します。
- トイレ用の手洗い場は、感染症予防の観点から自動水栓を基本とします。
- 職員・来客用トイレや体育館等施設利用者用トイレとの配置を考慮しつつ、原則各階1つ以上のバリアフリートイレを設置します。
- 性同一性障害や性的指向・性自認(性同一性)に係る児童生徒本人への配慮と他の児童生徒への配慮をした配置とします。

手洗い場等 [必要数・面積:学校規模に応じて検討]

- 教室から近接した位置となるよう配慮して配置します。
- 感染症対策として自動水栓を設置するとともに、必要に応じて蛇口タイプも設置します。
- 給食後の歯みがき等の実施にあたり、児童生徒数に応じて水栓の数等に配慮します。
- 熱中症対策等のためウォーターサーバーや冷水器等を各階へ設置します。

職員-管理エリア

職員室 [必要数:1][面積:144m²~(学校規模に応じて検討)]

- 校庭での児童生徒の活動の様子や昇降口からの出入りなどが分かる位置に配置し、防犯上等の配慮をします。
- 校長室、事務室と近い位置に配置し、部屋同士で直接行き来ができるようにするなど、連携が取れるよう配慮します。
- 個人情報や重要資料を保管する器具庫のスペースを確保します。
- 防犯カメラのモニターを設置するスペースを確保します。
- 学校規模に応じた広さを確保し、教員、講師等と一緒に執務できる打合せ等のためのスペースを設けます。特別支援学級、特別支援教室の教職員も原則1つの職員室内での執務を想定しますが、教室の配置や人数等により専用の職員室を整備することも検討します。
- 緊急時の非常通報装置や非常用放送設備を設置します。

校長室 [必要数:1][面積:36m²]

- 校庭を見渡せる位置に配置し、防犯上の配慮をします。
- 職員室、事務室と近い位置に配置し、部屋同士で直接行き来ができるようにするなど、連携が取れるよう配慮します。
- 個人情報や重要資料を保管する器具庫や学校の歴史(歴代校長写真等)に関するスペースを

確保します。

○少人数の打合せスペースや保護者等の面会が可能なスペースを確保します。

事務室 [必要数:1][面積:36m²]

○職員室、校長室と近い位置に配置し、部屋同士で直接行き来ができるようにするなど、連携が取れるよう配慮します。

○緊急時の非常通報装置を設置します。

主事室 [必要数:1][面積:36m²]

○来校者管理のため、来校者から見えやすい位置(昇降口付近等)に配置します。

○主事の業務の特性を考慮し、屋外へ出やすい位置となるよう配慮します。

○緊急時の非常通報装置を設置します。

印刷室 [必要数:1][面積:36m²]

○職員室に近接した位置に配置します。

○印刷機器設置スペース、作業スペース、用紙類保管スペースを確保します。

会議室 [必要数:学校規模に応じて検討][面積:72m²]

○校長室、職員室等との位置関係、動線に配慮します。

○少人数での打ち合わせ等にも対応できるよう留意します。

保健室 [必要数:1][面積:108m²]

○校庭に面した1階に配置し、救急車等が横付けできるよう配慮します。

○職員室等との位置関係、動線に配慮するとともに、児童生徒が休養できる落ち着いた環境となるよう、隣接する諸室に配慮します。

給食室 [必要数:1][面積:学校規模(配食数)に応じて検討]

○1階に設置し、エレベーターに近接するよう配慮します。

○食育の観点から、廊下側から調理風景を見ることができるよう配慮します。

○空調設備を標準設置するとともに、乾式(ドライ)仕様とし、衛生管理しやすい構造とします。

○食材等の搬入車両が児童生徒の動線と重ならないよう配慮します。

○学校規模に応じた食数から、機器の台数や配置、部屋面積を決定します。

○災害時における停電や断水時でも給食の提供や避難生活での炊き出し等ができるよう、ガスの供給方式の併用や調理員以外でも設備を扱えるマニュアルの整備等について検討します。

配膳室 [必要数:各階1][面積:36m²]

○教室がある各階のエレベーターに近接するよう配慮します。

給湯室 [必要数: 1][面積: 学校規模に応じて検討]

- 来客時への対応や教職員の休憩のため、必要設備を設置します。
- 専用のスペースを確保できない場合は、職員室内等への設置も検討します。

職員更衣室 [必要数: 2 (男女各 1)][面積: 36 m²]

- 職員室等との位置関係、動線に配慮します。
- 男女別に分け、男女比の変動に対応できるよう可動間仕切りとします。
- 性同一性障害や性的指向・性自認(性同一性)に係る本人への配慮と他の者への配慮をした配置とします。
- 教職員が休憩できるスペースの設置を検討します。
- 緊急時の非常通報装置の導入を検討します。

職員・来客用昇降口 [必要数・面積: 学校規模に応じて検討]

- 来校者が受付を通らず校舎内に入らないよう、主事室等からの見通しに配慮します。
- 専用の昇降口が設けられない場合は、児童生徒の昇降口との兼用も検討します。

職員・来客用トイレ [必要数・面積: 学校規模に応じて検討]

- 乾式(ドライ)仕様とし、衛生管理のしやすい構造とします。
- 大便器はすべて洋式とし、温水洗浄便座の設置を検討します。
- トイレ用の手洗い場は、感染症予防の観点から自動水栓を基本とします。
- 児童生徒用トイレや体育館等施設利用者用トイレとの配置を考慮し、原則各階1つ以上のバリアフリートイレを設置します。
- 様々な来客者や避難所機能も想定し、必要に応じてオストメイト対応等の設備を検討します。
- 性同一性障害や性的指向・性自認(性同一性)に係る本人への配慮と他の者への配慮をした配置とします。

放送室 [必要数: 1][面積: 36 m²]

- 職員室に近接するよう配慮します。
- スタジオ室と機器操作室とを間仕切り等により2室で利用できるよう配慮します。
- 防音、遮音対策を講じます。

教育相談室[必要数: 1][面積: 36 m²]

- スクールカウンセラーなどの教育相談の専門員が常駐する部屋となることに配慮します。
- 児童生徒が人目を気にせずに利用できるよう、プライバシーに配慮し、日常動線とは重ならない配置とします。
- 廊下からの視線を遮ることが出来るよう、カーテンやパーテーションを有効に設置します。
- 個人情報を取り扱うことを考慮し、必要十分な容量の鍵付きのキャビネットを設置します。

進路資料室(中学校のみ) [必要数:1][面積:36m²]

- 生徒の立ち寄りやすい位置の配置に配慮します。
- 進路に関する情報収集を生徒自らが行えるよう、掲示板や書架、PC等の配置を考慮し、必要なスペース、設備を整備します。
- 必要に応じ進路相談を行うことも想定し、面談スペースの配置を検討します。

PTA室 [必要数:1][面積:36m²]

- 個人情報等の管理のため、職員室等の管理諸室とは遠い位置に配置します。

スクール安全ステーション(小学校のみ) [必要数:1][面積:5m²]

- 児童の安全管理や来校者の対応を考慮し、昇降口付近に整備します。
- 緊急時の非常通報装置を設置します。

教材室・倉庫 [必要数・面積:各校の状況に応じて検討]

- 教科別、目的別などに複数個所有効な位置に配置します。

廊下・階段 [幅員等:各校の状況に応じて検討]

- 避難経路としての十分な広さを確保します。
- 通路としての役割だけでなく、児童生徒の日常的な交流の場となるよう留意します。
- 学習や研究成果を掲示する場所や作品の展示スペースを確保します。
- 屋上へつながる階段には施錠できるよう配慮します。

エレベーター [必要数:1~2程度][面積:給食台車2台分程度]

- 学校規模に応じて必要数設置します。
- 身障者等の動線に配慮するとともに、給食配膳時にも利用するため、給食室・配膳室に近い位置となるよう配慮します。
- 必要面積は、小学校・中学校の給食台車の大きさ等を考慮し検討します。
- 地域開放や避難所運営なども踏まえた配置を検討します。

運動エリア

校庭 [面積:各校の状況に応じて検討]

- 可能な限り、日当たりのよい場所に最大限の広さを確保します。
- 小学校は、50m直線レーン・80m周回トラック、中学校は、50m直線レーン・100m周回トラックの設置を基本とします。
- 校庭を地上に計画できない場合は、屋上への配置を検討します。
- 仕上げは、全天候型、ダスト、真砂土、人工芝を標準とし、工事条件、コスト、地域の状況等を踏まえ整備します。
- ミストシャワーやスプリンクラー、オーニングテントの設置、樹木による日陰等暑さ対策を検討します。

- 校庭には、トイレ、手洗い場、水飲み場を設置します。
- 校庭と隣地・道路との境界部全面に防球ネット(防砂ネット)を設置します。
- 活動に必要な用具等を収納するための付属設備を設置します。
- 緊急車両、点検車両等の出入口に配慮します。
- 特別支援学級や保健室等への出入りが容易となるよう動線に配慮します。
 - 自然に触れるためビオトープ等の整備を検討します。
- 植栽する樹木は、日影や害虫、将来の樹高、管理の難易度等を考慮して選定します。
- 地域開放や避難所運営の際の安全管理上のため、夜間照明の設置を検討します。

体育館 [必要数:1][面積:各校の状況に応じて検討]

- 冷暖房機については、風による授業や部活動等への影響も考慮した機器の設置を検討します。
- 6人制バレーボールコート2面、バスケットボールコート1面のスペースと十分な天井高(概ね7m以上)を確保するとともに、ステージや舞台機構も設置します。
- 活動に必要な用具等を収納するための付属設備を設置します。
- 各コートのライン外に必要な離隔距離(安全地帯・フリーゾーン)を確保できるよう配慮します。
- 運動に必要な照度、発熱量を考慮した十分な換気量を確保します。
- 防音、防振対策を実施します。
- 通風や採光を確保するとともに、天井の照明器具等が落下しない構造とします。
- 体育館近くに、手洗い場、水飲み場を設置します。
- 行事・式典等で利用しやすいよう、舞台裏やギャラリーへの動線に配慮します。
- 地域開放を想定し、外部との動線に配慮するとともに、施設利用者用のトイレを設置します。
- 数日間の避難を想定し、体育館近くに温水シャワーを設置します。

プール [必要数:別途方針による][面積:25m×6レーン]

- プールの在り方については、別途方針の策定を予定しています。
- プールは、近隣複数校で共同利用する拠点校方式、区営・民間プールの活用等を検討するとともに、プールを設置する場合は、屋内温水プールなど、複数校利用等を想定した仕様を検討します。

武道場(中学校のみ) [必要数:1][面積:各校の状況に応じて検討]

- 運動に必要な照度、発熱量を考慮した十分な換気量を確保します。
- 防音、防振対策を実施します。
- 武道場近くに、手洗い場、水飲み場を設置します。
- 地域開放を想定し、外部との動線に配慮するとともに、施設利用者用のトイレを設置します。
- 競技で使用する器具等を保管する器具庫を設置します。

地域コミュニティエリア

多目的室・ランチルーム [必要数:学校規模・各校の状況により検討][面積:144m²]

児童生徒-生活エリアと兼用

ミニ備蓄倉庫 [必要数:1][面積:72m²程度]

- 各学校の浸水想定を基に、浸水しない階への配置となるよう配慮します。
- 災害時に使用しやすい配置を検討します。
- 食料や飲料水、生活用品等の標準備蓄物資を備蓄できるスペースを確保します。

学童クラブ・放課後子ども教室(にこにこすくーる)(小学校のみ)

[必要数:各校の状況に応じて検討][面積:72m²]

- お迎えや帰宅時の動線に配慮し、門や駐輪場に近接するよう配慮します。
- 利用が想定される校庭、体育館等への移動のしやすさを考慮した配置を検討します。
- 職員の控室、手洗い場等を学童クラブ室等に隣接する形で整備することを検討します。
- 利用児童数に応じた下駄箱、ランドセルロッカー等の設置を検討します。
- 長期休みにも利用できるよう動線に配慮します。

その他諸室等

- 車椅子使用者用駐車施設の整備を検討します。
- 必要規模の駐輪場を整備します。
- 学校規模に応じて、多様な活動に活用できるオープンスペースを検討します。
- 学校・地域と連携し、学校ごとに必要な諸室等を検討します

■新しい学校のイメージ



イラスト:文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について(最終報告書)」より



写真:尾久八幡中(学校図書館及び廊下)

< 参考 >

児童生徒・教職員へのアンケート結果

学校施設整備水準(案)に関するアンケート結果

1. 調査の目的

今後の学校施設の建替えを効果的・効率的に進めるとともに、建替え後の学校施設について一定の水準を確保するため、基本的な考え方をまとめた「学校施設整備水準」を検討するにあたり、これからの学校に求められる機能や重視すべき項目等について子どもたちや先生方のご意見を整備水準策定の参考とするため。

2. 調査方法

調査対象	調査方法	実施期間
教職員 小学6年生の児童 中学2年生の生徒	Webアンケート	令和6年12月20日 ～令和7年1月24日

3. 回答数及び回答率

教職員	児童生徒
225	1,032
18.5%	38.9%

4. 回答者の属性

(1) 教職員

役職等	回答数
教育職員(校長・副校長・教諭)	151
講師	8
事務職員	10
栄養士	9
学校用務	14
特別支援教室専門員	6
特別支援教育支援員	8
SSW	1
学校司書	13
その他	5

(2) 児童生徒

児童生徒	回答数
児童(小6)	433
生徒(中2)	599

(3) 学校別回答数

学校名	教職員	児童	学校名	教職員	児童	学校名	教職員	生徒
瑞光小学校	4	68	第九峡田小学校	14	27	第一中学校	7	75
第二瑞光小学校	-	-	尾久小学校	-	1	第三中学校	8	133
第三瑞光小学校	31	76	尾久西小学校	3	-	第四中学校	5	6
汐入小学校	-	-	尾久第六小学校	-	-	第五中学校	-	-
汐入東小学校	12	1	赤土小学校	-	1	第七中学校	5	43
第六瑞光小学校	21	18	大門小学校	2	1	第九中学校	7	47
峡田小学校	11	45	尾久宮前小学校	18	-	尾久八幡中学校	-	-
第二峡田小学校	9	21	第一日暮里小学校	12	25	南千住第二中学校	3	85
第三峡田小学校	21	19	第二日暮里小学校	-	23	原中学校	5	84
第四峡田小学校	7	42	第三日暮里小学校	-	1	諏訪台中学校	4	126
第五峡田小学校	15	64	第六日暮里小学校	1	-			
第七峡田小学校	-	-	ひぐらし小学校	-	-			

5. 結果概要

(1) 教職員

整備水準(案)を示し、基本的な考え方に対する意見、各諸室計画に対する意見等を募った。

○基本的な考え方に対する意見

【新しい時代の学びを実現する学校施設】について

< 97件 >

区分	件数	割合
ICT環境に関する事項	30 件	30.9 %
ユニバーサルデザイン・バリアフリーに関する事項	9 件	9.3 %
フリースペース・オープンスペースに関する事項	6 件	6.2 %
不登校等の児童生徒の居場所に関する事項	6 件	6.2 %
クールダウンスペースに関する事項	5 件	5.2 %
学校図書館に関する事項	3 件	3.1 %
その他要望・ご意見	28 件	28.9 %
案に賛成の意見	10 件	10.3 %

- ・校内(校庭含む)どこにいても繋がるWifi環境や普通教室以外の場所でもICT機器の活用ができる環境を求める回答が多くあった。
- ・ユニバーサルデザインによる校舎整備の推進やエレベーター設置についての意見があった。
- ・クールダウンスペースや不登校等の児童生徒の居場所の必要性についての意見も一定数あった。
- ・その他の意見等として、新しい学びを実現するために教員による研究が必要なため、教員側の視点を求める意見や多様な学びのため広い教室を求める意見があった。

【安全安心な学校施設】について

< 103件 >

区分	件数	割合
セキュリティ・防犯に関する事項	22 件	21.4 %
設備に関する事項	17 件	16.5 %
ユニバーサルデザイン・バリアフリーに関する事項	13 件	12.6 %
諸室等に関する事項	11 件	10.7 %
校庭に関する事項	9 件	8.7 %
建物構造に関する事項	7 件	6.8 %
その他要望・ご意見	14 件	13.6 %
案に賛成の意見	10 件	9.7 %

- ・防犯カメラや施錠機能などセキュリティ・防犯の強化を求める意見が多くあった。
- ・設備に関しては、現状の学校と比べ足りないものや機能を充実するべきとの意見が挙げられた。
- ・滑りにくい素材や屋根の設置を求めるなど、校庭に関する意見が一定数あった。
- ・耐震化等災害に強い施設など、建物構造に関する意見があった。
- ・その他の意見等として、建替え時のことのみではなく、災害時に避難所となることから、設備等の普段の安全点検を行うことの重要性に関する意見もあった。

【快適な空間及び維持管理しやすい学校施設】について

< 94件 >

区分	件数	割合
設備(空調以外)に関する事項	27 件	28.7 %
空調に関する事項	16 件	17.0 %
諸室・配置に関する事項	10 件	10.6 %
採光に関する事項	4 件	4.3 %
樹木等に関する事項	4 件	4.3 %
プールに関する事項	3 件	3.2 %
委託化に関する事項	2 件	2.1 %
その他要望・ご意見	17 件	18.1 %
案に賛成の意見	11 件	11.7 %

- ・快適な空間の点から、トイレ、照明、換気等の設備面の充実を求める意見があった。
- ・教室のみだけでなく、廊下や階段等にも空調を求める意見が一定数あった。
しかし、空調に関する意見のうちほとんどは、現状の空調の改善を求める意見であった。
- ・維持管理の点から、業務委託や民営化という提案もあった。
- ・複雑な造りや扱いが難しい機器等ではなく、シンプルな形状の施設に賛成という意見や、
施錠方法の簡易化などシンプルな施設を望む意見もあった。

【環境への配慮・持続可能な社会に資する学校施設】について

< 60件 >

区分	件数	割合
緑化・芝生等に関する事項	10 件	16.7 %
太陽光・自家発電等に関する事項	8 件	13.3 %
設備に関する事項	6 件	10.0 %
断熱に関する事項	4 件	6.7 %
照明に関する事項	2 件	3.3 %
木材利用に関する事項	2 件	3.3 %
その他要望・ご意見	16 件	26.7 %
案に賛成の意見	12 件	20.0 %

- ・芝生の校庭や屋上庭園の設置、また小学校からビオトープの設置について多くの意見があった。
- ・太陽光発電について設置を求める意見がある一方で、メンテナンスや機器更新まで考えるべきとの意見もあった。
- ・断熱に関して4件のうち3件は窓ガラスの断熱に関する意見であり、近年の酷暑に対する対策を求める意見があった。
- ・その他の意見として、設備等ではなく、子どもたちに環境への配慮やSDGsなどをしっかり教えていきたいとの意気込みやペーパーレス化なども意見も見られた。

【地域の拠点となる学校施設】について

< 68件 >

区分	件数	割合
避難所等に関する事項	22 件	32.4 %
ユニバーサルデザイン・バリアフリーに関する事項	12 件	17.6 %
地域開放・交流に関する事項	10 件	14.7 %
その他要望・ご意見	14 件	20.6 %
案に賛成の意見	10 件	14.7 %

- ・防災や避難所に関する意見が最も多く、関心の高さが伺えた。施設整備の面だけでなく、町会との連携やペットとの避難も考慮すべきとの意見もあった。
- ・地域開放・交流の点から、ユニバーサルデザインの推進やバリアフリーに関する意見も多くあった。また、学校以外の施設との複合化を図り、多世代との交流を期待する意見も一定数見られた。
- ・その他の意見として、複合により多種多様な方々が出入りするすることにより教員の負担を心配する声も見られた。

○学校の複合化に関する意見

< 95件 >

区分	件数	割合
学童・にこにこすくーる	13 件	13.7 %
多世代が交流できる施設	10 件	10.5 %
図書館	6 件	6.3 %
スポーツ施設	6 件	6.3 %
幼稚園・保育園	3 件	3.2 %
高齢者施設	3 件	3.2 %
その他の施設	6 件	6.3 %
複合化ではない、学校に必要な諸室・設備に関する要望・意見等	45 件	47.4 %
その他要望・意見等	3 件	3.2 %

- ・小学校内に多く設置されている学童クラブやにこにこすくーるについて、建替え後も校内にあったほうが良いとの意見が多くあった。理由としては、移動時の危険回避や連携の取りやすさを挙げる意見があった。
- ・スポーツ施設6件の意見のうち3件は、プールとの複合化の意見であり、学校のプールではなく、公共のプールが学校内にあれば、維持管理の負担軽減や近隣校での共同利用も可能との意見があった。一方で、複合化への意見ではなかったですが、現状の学校プールの屋内化を求める意見などが見られ、プールへの関心の高さが伺えた。
- ・高齢者施設の理由として、福祉に興味をもつ児童が増えることや学習や友人関係にうまく行かない時に高齢者とのふれあいで何かを見出せたりするかもといった意見もあった。

○施設構成と考え方、諸室の詳細に関する意見

< 117件 >

区分	件数	割合
必要な諸室に関する事項	38 件	32.5 %
動線や位置関係に関する事項	27 件	23.1 %
設備等に関する事項	19 件	16.2 %
不要な諸室に関する事項	6 件	5.1 %
その他要望・意見等	15 件	12.8 %
案に賛成の意見	6 件	5.1 %
既存施設への要望等	6 件	5.1 %

- ・クールダウンスペースが必要という意見が最も多かった。また、多目的スペースや集会ができるスペースなど様々な場面で柔軟に利用できるスペースを望む意見が多くあった。
- ・会議室が必要だという意見がある一方で、タブレット等によるオンラインでの会議で十分なため、会議室は不要との意見もあった。
- ・諸室の位置関係については、職員室や事務室、校長室など連携が取れるよう近くに配置すべきとの意見が一定数あった。また、保健室の配置についての意見も見られた。
- ・設備等に関しては、間仕切りやパーティションなどを活用して柔軟に空間を仕切れるようにすべきとの意見があった。
- ・その他として、子ども視点のみならず、働いている教員目線で働きやすい環境づくりを重要視すべきとの意見も見られた。

○現在の学校施設における課題や解決アイデアに関する意見

老朽化を除く

< 186件 >

区分	件数	割合
諸室に関する事項	32 件	17.2 %
プール・校庭・体育館に関する事項	28 件	15.1 %
動線・位置関係に関する事項	25 件	13.4 %
トイレ・水道・空調に関する事項	24 件	12.9 %
エレベーター等バリアフリーに関する事項	14 件	7.5 %
セキュリティに関する事項	11 件	5.9 %
その他設備に関する事項	10 件	5.4 %
学校図書館に関する事項	10 件	5.4 %
電力不足に関する事項	8 件	4.3 %
その他老朽化に関する事項	8 件	4.3 %
ICT環境に関する事項	6 件	3.2 %
その他の要望・意見等	10 件	5.4 %

- ・老朽化に関する部分は除く設問だったが、各事項において老朽化に関する課題が多く挙げられており、解決アイデアとしては、校舎の建替えとの意見が多く上がった。
- ・諸室に関して、校舎や教室が狭いことや空き教室がないこと、柔軟に使用できる部屋がないことなどといった意見が多く、児童生徒数の増により校舎全体に余裕がないことが課題としてある。
- ・体育施設については、特にプール設備に関する老朽化の意見が多く挙げられた。解決アイデアとしては、プールの外部委託や他施設（民間施設）を使用するといったアイデアが多かった。
- ・動線や位置関係に関して、校舎内の見通しが悪いことや死角が多いこと、形が複雑など児童生徒の安全管理に関わる課題が多く見られた。
- ・水道に関して、数が足りていないという意見が多く、児童生徒の増による影響によるものと考えられる。また、空調の効きが悪いといった課題あったが、その多くは体育館空調であった。

(2) 児童生徒

整備水準(案)の内容を簡単にまとめた「新しい学校のイメージ」を見ていただき、新しい学校に必要な空間や学校と同じ場所にあったらいいと思う施設等について意見を募った。

○新しい学校にあったらいいと思う空間、施設、設備について

< 1090件 >

区分	件数	割合
児童生徒-生活エリアに関する事項	422 件	38.7 %
運動エリアに関する事項	382 件	35.0 %
職員-管理エリアに関する事項	87 件	8.0 %
児童生徒-学習エリアに関する事項	77 件	7.1 %
その他要望・意見等	122 件	11.2 %

- ・小・中学校ともに、生活エリアに関する意見が最も多く、その中でも「リラックスしたい」、「ゆっくりしたい」等の理由から、休憩スペースが必要との意見が多かった。
- ・運動エリアでの小・中学校共通事項として、広い体育館・広い校庭を求める意見が多く見られた。小学校では、プールに関して、室内プールを望む意見が多く見られた。
- ・管理エリアでは、小・中学校ともにエレベーターやエスカレーターの設置に関する意見が最も多く、理由として、「楽をしたい」「階段は疲れる」等の他、「車いすの子が大変だから」「怪我をしている人のために」等の声も見られた。
- ・学習エリアに関しては、今よりも広い教室や学校図書館の充実を求める意見が一定数あった。
- ・その他として、中学校では廊下に空調の設置、部活動の点から校庭に照明設置を求める意見が見られた。小学校では、防犯等セキュリティに関する意見が少数ながら見られた。

○学校の中にあつたらよいと思う施設について

< 861件 >

区分	件数	割合
図書館関連施設	170 件	19.7 %
ふれあい館・ひろば館・老人ホーム等	155 件	18.0 %
運動施設・公園等	75 件	8.7 %
購買・飲食施設関連	55 件	6.4 %
学童クラブ・保育施設等	43 件	5.0 %
学校施設諸室の拡充	115 件	13.4 %
その他施設・意見	61 件	7.1 %
なし	187 件	21.7 %

- ・小・中学校ともに最も多い意見は、図書館関連施設であった。「たくさん本を読みたい」、「調べものの時に活用したい」などの意見が多く見られた。また、中学校に多く見られた意見として、自習、学習にも活用できるとの声も見られた。
- ・地域の人との交流、放課後の遊び場等のため、ふれあい館等が学校にあればよいとの意見も多く見られた。
- ・運動施設等では、スポーツセンターのように総合的に運動できる施設を望む意見が多くあった一方で、野球場、サッカーコート、テニスコート、プール等といった具体的な競技を挙げる意見も多くあった。中学校においては、部活動に関しての意見も見られた。また、小・中学校ともに、公園の意見も一定数見られた。
- ・飲食関連施設においては、コンビニ、売店・購買等の意見が多く、「好きなものが食べたい」、「部活後に寄るため」などの意見があった。また、食堂の意見の中で小学校に多く見られたのが、

- ・「クラス・学年関係なくみんなで一緒に食べたい」という意見もあった。
- ・学童クラブ等について、小学校からの意見が多かったが、中学校においても、一定数の意見が見られ、児童との触れ合いを希望する声も見られた。
- ・複合化ではないが、学校にあったらいいと思う諸室として、多くの意見をいただいた。
小学校では、遊ぶ場所・空間を求める意見が多くあった一方、中学校では、自習室の設置を求める意見が多くを占めていた。
- ・その他意見として、小学校では動物園の意見が多く生き物との触れ合いがしたいという声が見られた。また、クラブ活動で教えてもらえるという理由から中学校と合体との意見もあった。
中学校においては、具体的な店舗名が挙げ、必要な時にすぐ買えるからという理由があった。

○現在通っている学校の好きなところについて

< 932件 >

区分	件数	割合
学校図書館	159 件	17.1 %
体育館	126 件	13.5 %
その他の諸室	98 件	10.5 %
校庭	90 件	9.7 %
教室	61 件	6.5 %
特別教室	49 件	5.3 %
設備関係	27 件	2.9 %
トイレ	22 件	2.4 %
プール	4 件	0.4 %
その他施設以外の意見	146 件	15.7 %
なし	150 件	16.1 %

- ・小・中学校ともに最も多い回答は、学校図書館であった。
- ・その他諸室は、小学校では、保健室や学童クラブが多く、中学校では、オープンスペースや多目的室が多くあった。
- ・特別教室は、小・中学校ともに音楽室が最も多く、小学校では、次いで図工室も多かった。
- ・設備関係では、小・中学校ともにウォーターサーバー、エレベーターの回答が多かった。
- ・施設以外の意見として、小学校では、「給食が美味しい」、「友達と会える場所」等の意見があった。
中学校では、「校舎がきれい」、「学校が楽しい」等の意見があった。
- ・好きなところは、「ない」の回答も、多く見られた。(特に中学校)

○現在通っている学校の使いにくいところについて

< 867件 >

区分	件数	割合
共用部分(廊下・階段・トイレ等)	200 件	23.1 %
設備関係	32 件	3.7 %
教室	52 件	6.0 %
校庭	46 件	5.3 %
建物配置・移動	40 件	4.6 %
体育館	38 件	4.4 %
学校図書館	31 件	3.6 %
プール	28 件	3.2 %
更衣室	21 件	2.4 %
その他の諸室	53 件	6.1 %
特別教室	16 件	1.8 %
その他意見・要望等	87 件	10.0 %
なし	223 件	25.7 %

- ・共用部分における小学校でもっとも多い意見は、階段についてであり、エレベーターの設置を求めるものであった。また、小学校ではトイレ、中学校では手洗い場に関する意見が多く、いずれも数が少ないので増やしてほしいことやキレイにしてほしいとの意見が多かった。
- ・設備については、空調に関して、止まってしまうことやエアコンつけても暑いといった意見が多かった。また、タブレットに関する意見も一定数見られた。
- ・教室では、狭い・広くしてほしいという意見が最も多く、小学校においては、同学年は同一フロアに配置を望む意見も見られた。
- ・校庭については、教室同様狭いという意見が多くを占めた。中学校においては、部活動等で使用頻度が多いためか、人工芝を望む意見やテニスコートの設置など専門種目のコート等を求める意見も見られた。
- ・中学校において、建物配置や移動に関して、体育館までの距離が長い、配置が悪いといった意見があった。
- ・その他意見・要望等では、教室にごみ箱を設置すべきとの意見や老朽化に関する意見が見られた。
- ・使いにくいところは、「ない」の回答も、多く見られた。

6. 整備水準(案)に反映した意見等

教職員及び児童生徒からの意見のうち、整備水準(案)に反映又は今後の設計時の参考とする意見等は以下のとおり。

	教職員	児童生徒
反映等した意見延べ件数	49件	61件

教職員と児童生徒でも同様の意見があるため、上記件数分

小学校と同じようなランドセル対応のロッカーを変更していただきたい。A4の書類が縦に整理できず使いにくい。整理が苦手な生徒に対するユニバーサルデザインの考えに反している。
(同様の意見他14件あり)

→ 普通教室 に追記

○多様な学習活動等に柔軟に対応できるよう、カーテンやパーテーション等の設置、廊下等共用部分の有効活用等を図るとともに、可動式ロッカー等の導入や配置の工夫により、教材などの収納環境を整え、教室空間の有効活用を図れるよう検討します。

英語教室を全校に配置。(学校によってあるないがある。)

(同様の意見他2件あり)

→ 少人数教室 に追記

○小学校には算数室、中学校には英語室と数学室として整備します。

身体を動かして活動できるスペースを確保して、身近な場所で友達と交流できる空間を整備する。

→ 廊下・階段 に追記

○通路としての役割だけでなく、児童生徒の日常的な交流の場となるよう留意します。

部外者が入りづらい敷地 防犯カメラ

(同様の意見他7件あり)

→ 基本的な考え方(2) に追記

○敷地境界部からの侵入対策などの防犯性や安全性に配慮し、見通しが良く、動線や構造を十分に検討した施設とします。

水道やトイレの数が子どもの数に対して少ない。

(同様の意見他19件あり)

→ 手洗い場等 児童生徒用トイレ に追記

○児童生徒数に応じて必要な器具数を整備します。

○給食後の歯みがき等の実施にあたり、児童生徒数に応じて水栓の数等に配慮します。

教職員の休憩室を確保してほしい。体調不良の場合などに、人目に触れずに身体を横にできる場所が必要である。せめて座れる場所を確保してほしい。

→ 職員更衣室 に追記

○教職員が休憩できるスペースの設置を検討します。

学校図書館は高層階の端に位置するのではなく、低層階が望ましい。誰もが通しやすい位置が望ましい。

(同様の意見他10件あり)

→ 学校図書館 に追記

○音や振動による影響を考慮し、音楽室・体育館などとの位置関係に配慮するとともに、児童生徒及び教職員等誰からも利用しやすい配置となるよう配慮します。

体育準備室が欲しい。

(同様の意見他5件あり)

→ 体育館 校庭 に追記

○活動に必要な用具等を収納するための付属設備を設置します。

LEDの常設。

(同様の意見他5件あり)

→ 基本的な考え方(4)に 追記

○区のゼロカーボンシティ表明に基づき、「脱炭素社会」へ転換していくため、荒川区役所エコアクティブプラン等を踏まえて、省エネルギー設備、再生可能エネルギー設備の導入・設置を推進します。

各教室に空調設備を設置。

(同様の意見他10件あり)

→ 基本的な考え方(3)に 追記

○近年の気候変動による猛暑・酷暑に対応するため、校舎内外の暑さ対策を実施し、良質な教育環境を確保します。

樹木も実がならない、落葉しない、危険な虫がつかないなど考えて配置してほしい。

(同様の意見他2件あり)

→ 校庭 に追記

○植栽する樹木は、日影や害虫、将来の樹高、管理の難易度等を考慮して選定します。

太陽光発電、ソーラーシステム、雨水利用等。

(同様の意見他6件あり)

→ 基本的な考え方(4)(5)に 追記

○区のゼロカーボンシティ表明に基づき、「脱炭素社会」へ転換していくため、荒川区役所エコアクティブプラン等を踏まえて、省エネルギー設備、再生可能エネルギー設備の導入・設置を推進します。

○災害時の避難所となることを想定し、マンホールトイレの整備や簡易トイレ・携帯トイレの備蓄、温水シャワーの設置、停電に備え非常用発電機や蓄電池、応急給水栓、太陽光パネル、雨水貯留槽等の整備など防災担当部署と連携し、必要な設備等を整備します。

災害時の避難所として、ペットと避難できる場所も想定してほしい。

→ 基本的な考え方(5)に 追記

○避難所運営時、ペットの避難場所も確保できるよう留意します。

前任校では地域利用を想定して、児童用の昇降口とは別に地域利用の入口を設け、地域利用口からは教室等の貸出施設以外の部屋には入れないようにしていた。同様の造りになると管理がしやすいと感じる。

(同様の意見他1件あり)

→ 基本的な考え方(2) に追記

○地域開放時や避難所運営時に、児童生徒の安全確保や個人情報を保護できるようセキュリティに配慮します。

少人数による打合せ等を行うことのできる、応接室(小会議室)があるとよい。

(同様の意見他1件あり)

→ 会議室 に追記

○少人数での打ち合わせ等にも対応できるよう留意します。

保健室が職員室や生徒玄関に近いため、生徒の見送りや職員室との往来にはとても便利でありがたい。しかし、会議室も兼ねている応接室と隣接していて、ベッドもそちら側の壁に設置されているので、隣で会議をしていると声がかかなり聞こえて、生徒を休養させづらいことがある。職員室に近いことはありがたいが隣は相談室等であるとより良いと思う。

→ 保健室 に追記

○職員室等との位置関係、動線に配慮するとともに、児童生徒が休養できる落ち着いた環境となるよう、隣接する諸室に配慮します。

登校サポートルームは、相談室や保健室との連携も大事であるため近い方が良いが、現状人手が足りず支援員の方に対応が難しい児童を複数お願いすることもある。対応に困ったときに助けを呼びやすいように電話の設置や職員室に近い配置を検討いただきたい。

→ 登校サポートルーム に追記

○教育相談室や保健室、職員室等と近い位置に配置するよう配慮します。

体育館の舞台裏やギャラリーへの動線を考慮する。

→ 体育館 に追記

○行事・式典等で利用しやすいよう、舞台裏やギャラリーへの動線に配慮します。

職員室について、校長室、事務室と隣接して内側からも行き来できるづくりが理想。

→ 職員室 に追記

○校長室、事務室と近い位置に配置し、部屋同士で直接行き来ができるようにするなど、連携が取れるよう配慮します。

学年は1フロアで完結。

(同様の意見他5件あり)

→ 普通教室 に追記

○学年ごとのまとまりに配慮するとともに、学級編成基準の変更を見据えた普通教室数を確保します。

ユニバーサルデザインの考えにより、バリアフリーをするのではなく、
インクルーシブ教育の実現のためにバリアフリーをするのかと思います。
その下の「様々な授業に対応できる空間を作ります」がバリアフリーと関連するのだと思います。
→今後の設計時の参考とします。

古い造りの校舎のため、コンセントの数が少ないと感じる。一方デジタル化に伴い電源を使用
することが増えており、不便を感じることもある。電源の確保を検討頂けるとありがたい。
(同様の意見他1件あり)
→今後の設計時の参考とします。